

# シナノスマイル

登録番号：第4598号

字小河原1256)

登録年月日：平成7年8月17日

育成者：汲町静男

登録者：汲町静男（長野県須坂市大

来歴：「高墨」の自然交雑実生

## 特性

### ■栽培特性

「巨峰」の変異系統である「高墨」の自然交雑実生であり、ブドウの受粉・受精特性から考えると「高墨」の自家受精の実生と考えられる。

樹勢は強く新梢の色は暗褐色、枝の伸長および樹冠の広がりには「巨峰」くらいであり、登熟が非常に良い。開花期は「巨峰」より若干遅い。成葉の形は五角形、3から5片葉で葉柄裂刻の一般的な形は開く。成葉上裂刻の一般的な形は重なる。深さは深く、成葉の大きさは中で、成葉下面の葉脈間の綿毛の密度および主脈上の綿毛の密度は粗、葉柄の綿毛の密度は無から極粗で、中肋に対する葉柄の長さの比は短である。花房の形は複穂円錐で、花房の大きさは長く、穂梗の長さは短く、色は淡紅である。蕾の大きさは大きい。花器の形は両性で、花粉の多少は中である。花振るい性は「巨峰」程度であり、生理障害はほとんど認められない。欠点の少ない品種であり、栽培性が高い。

この品種の栽培のポイントは赤色系ブドウの栽培の基本である棚面を明るく保つことである。日光が十分に入り込むように樹間は十分にとり、新梢管理も徹底して行う。せん定や夏期管理等で樹を十分に落ち着かせる。できれば「巨峰」等黒色大粒品種との混植は避け、まとまった栽培をした方が良品が生産できる。収量は「巨峰」程度（1.5t/10a）であるが赤色大粒ブドウの魅力を発揮するためには着果量をやや少なめとした方が良い。

結実確保は「巨峰」と同様に行う。結果調節は多くて「巨峰」の基準（3,750房/10a、30~35粒/房）とするが、良品をとるためにはやや少なめとする。結果過多になると着色不良と色調が劣りこの品種の特性が発揮されなくなるので十分に注意を払う。袋掛けも「巨峰」に準じて行う。

### ■果実特性

果房は円錐形であり、大きさは350g~400g（整房）で大きく、着粒は粗である。果皮色は赤色、果粒は短楕円形で果粉が多く、重さは極大で13g前後で「巨峰」と同程度かやや大きい。皮離れが非常に良いため食べやすい。肉質は塊状と崩壊性の中間である。フォクシー香がする。果汁の糖度は18~19度で酸含量は0.4%と少ない。食味は優れている。果皮は厚く、裂果はほとんど認められない。果実の日持ちは長い方で、常温で1週間ほどもつ。熟期は育成地で9月中下旬で、「巨峰」より10日程度遅い。果心が長く強いので脱粒性が無く、輸送に強い。また、果梗が褐変しても脱粒しにくい。

### ■病虫害抵抗性

耐病性は「巨峰」と同等かこれより優れ、大きな問題となる病虫害はないため「巨峰」に準じた防除で栽培できる。

### ■地域適応性

花振るい性は「巨峰」と同程度。着色は「安芸クイーン」より容易であり、裂果性、脱粒性がなく、防除も「巨峰」程度であることから栽培は比較的容易である。地域適応性は熟期の遅いことから「巨峰」より狭いと考えられる。  
(山下裕之)